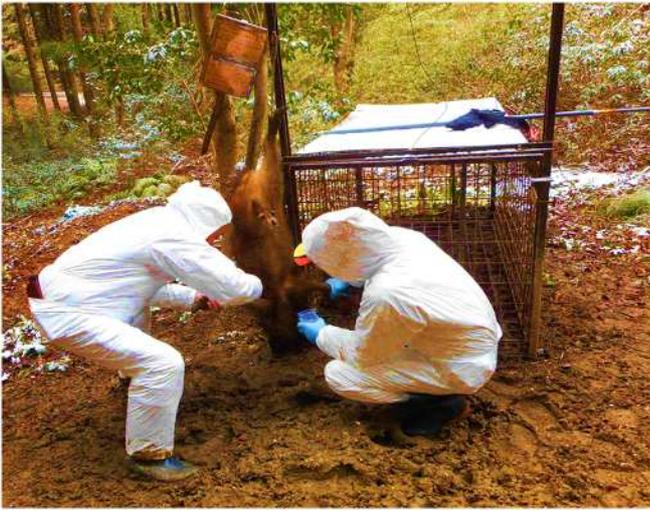


野生イノシシの血液検査 検査に適した血液を採取するためのポイント

検査を実施するためには、検査機関へ送付する前に採取した血液を凝固させないよう、血液採取から冷蔵送付までの作業を迅速に行うことが重要です。以下のポイントを参考にして検査に適した血液を採取しましょう。



① 止め刺ししてからなるべく早く採血する



止めさししてから時間が経過すると、体内で血液が固まってしまうのでなるべく早く採血しましょう。

イノシシを横に倒したまま採血しようとすると、血液がなかなか流れず作業に時間がかかってしまいます。可能であれば、写真のように止めさし後すぐに箱罾等に吊るすと血液が流れやすくなり、素早く採血できます。



② 採血後、速やかに保冷剤等を入れた冷蔵容器に保存する



特に夏場は気温が上がり血液が固まりやすくなります。

現場に凍らせた保冷剤、保冷バッグ等を持参してすぐに保存すると血液の状態も良くなります。また、当日に冷蔵便で送付できない場合は、血液の温度が上がることを防ぐために冷蔵庫で保管してください。



③ 採血後はなるべく血液を動かさない



血液を大きく動かすことも固まる原因になります。

血液を運ぶ際はそっと動かすように意識してみてください。



血液はできるだけ採血日を含め3日以内の送付に努めましょう